

産経 2019.11.21

女性初エベレスト登頂 田部井淳子さん

月命日日高・日和田山に記念碑完成

「登山の楽しさ知って」

昭和50年、女性で初めて世界最高峰のエベレスト（標高8848メートル）の登頂に成功し、平成28年10月20日に77歳で亡くなった登山家、田部井淳子さんの記念碑が20日、日高市の日和田山（標高305メートル）の登山道口付近にお目見えした。田部井さんの偉業を次世代に知ってもらうとともに、感謝の気持ちを伝えようと地元有志が寄付を募り、完成にこぎつけた。

（岡田浩明）

登山道口の脇にある駐車場に、エベレストのある西の方角を向いており、写真は長男が「これがいい」と選んだ。笑みを浮べる生前の田部井さんの写真と感謝文が刻まれている。月命日のこの日は、夫の政伸さん（78）も訪れた。「エベレス

ト登頂成功を知らない人が多くなっている。特に子供たちにはこの記念碑を見て、登山を楽しみ、いろいろな自然に触れて自然を好きになるきっかけにしてほしい」と語った。

若いころから、訓練のために政伸さんと日和田山に何度も登った田部井さん。「（妻は）いろいろな山を登っているが、こ

ゆかりのある日和田山では、月命日になると、田部井さんを慕う登山愛好家が集まり「思い出登山」を実施している。晩秋の柔らかな日差しの中、記念碑に寄り添う政伸さん。「彼女より1つ多く歳を重ねた。あと1年でも2年でも多く生きようかと思っている」と白い歯をみせて、夫婦そろって何度も歩いた登山道に向かった。

ここで訓練をしながら最終的にエベレストまで登頂した」と政伸さんは振り返る。その言葉通り、記念碑にも「日和田山からエベレストまで」という文字が刻まれている。

田部井さんは晩年、がんを発症したが、「病気になるっても病人にはならない」という強い気持ちで、自宅の川越市から毎週のように日和田山を訪れ、リハビリを続けたことでも知られる。



田部井淳子さんの記念碑に寄り添う夫の政伸さん
20日、日高市（岡田浩明撮影）



エベレスト登頂に成功した田部井淳子さん—昭和50年5月16日（女子登攀クラブ提供）